

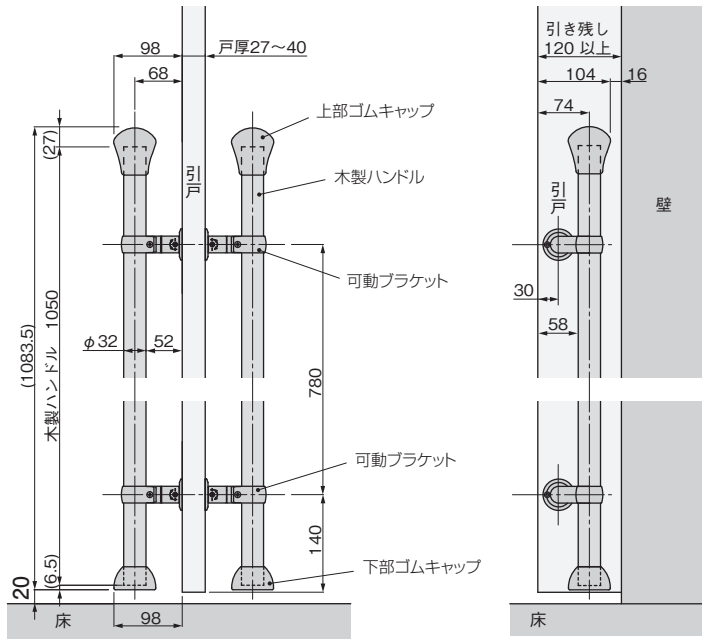
ドア錠
1
丁番
2
スライド
丁番
3
開き戸
金具
4
引戸錠
5
引戸
金具
6
上吊式
引戸金具
7
移動
間仕切
金具
8
折戸
金具
9
室内用
アルミ建具
10
取手・
引手
11
スリッパ
ワイヤー
バスケット
12
収納・
吊金具
13
その他の
家具金物
14
物干金具・
諸金具
15
真鍮
アンティーク
16
設計
施工
ガイド
会社案内

使用条件

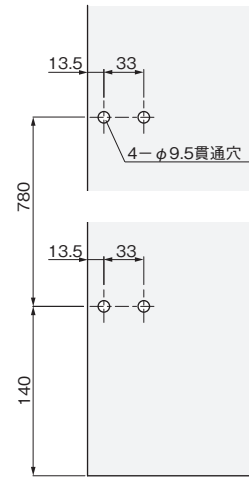
屋内用木製引戸(浴室には使用できません) ◇対応戸厚:27~40mm
◇引戸の引き残し量:120mm以上

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸の加工寸法図



ご注意

掘込加工部には、必ず芯材を入れてください。芯材がないと、異常な動作・故障や事故発生の原因になります。

施工ガイド

■金具の取付け手順

1.可動ブラケットの取付け 上部・下部用に下記を繰り返します。

①可動ブラケット(オン)のアームを下図のように約100°回転させます。



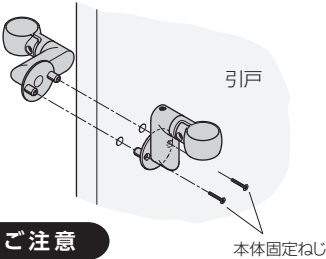
ご注意

可動ブラケットのアームを約100°回転させると、アームが止まります。それ以上可動させようとすると、破損の原因となります。

②下図のように可動ブラケットで戸をはさみ、添付ねじで固定します。

※戸厚により使用する本体固定ねじの長さが違います。

戸厚	使用ねじ
27~29mm	+皿タッピンねじ 4×27
30~34mm	+皿タッピンねじ 4×32
35~40mm	+皿タッピンねじ 4×37



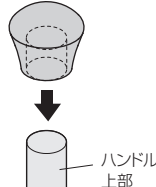
ご注意

※添付ねじで固定後、可動ブラケット(オン)のアームの向きを変えないでください。
※本体固定ねじを電動ドライバーで締めると、破損するおそれがありますので、必ず手回しドライバーで締めてください。

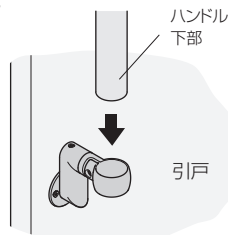
2.ハンドルの取付け

戸の室内側・室外側用に下記を繰り返します。

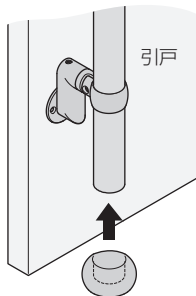
①ハンドルに上部ゴムキャップをしっかりと嵌めこみます。



②ハンドルを上下の可動ブラケットに差込みます。



③ハンドルに下部ゴムキャップをしっかりと嵌めこみます。

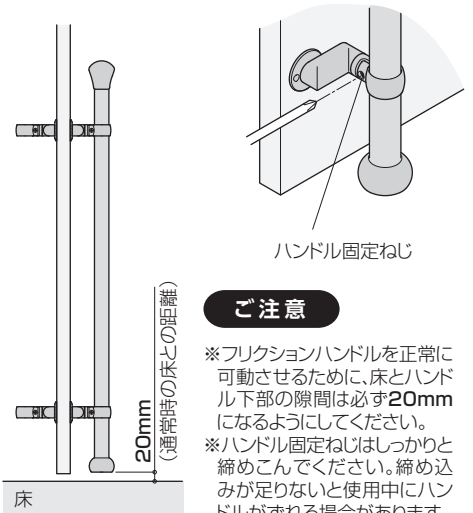


ご注意

※使用環境によっては、接着剤を併用してください。

④ハンドルを操作して、可動ブラケットのアームを水平に戻します。

⑤下部ゴムキャップと床の隙間が必ず20mmになる位置で、上下の可動ブラケットのハンドル固定ねじを締めこみ、ハンドルを固定します。

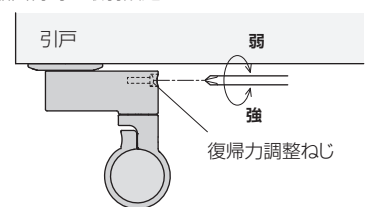


ご注意

※フリクションハンドルを正常に可動させるために、床とハンドル下部の隙間は必ず20mmになるようにしてください。
※ハンドル固定ねじをしっかりと締めこんでください。締め込みが足りないと使用中にハンドルがずれる場合があります。

■アームの復帰力調整

可動ブラケットの復帰力調整ねじをまわすと、アームの復帰力を調整できます。
※製品出荷時は最弱設定です。



ご注意

調整は、上下ともに行ってください。